都立青山特別支援学校（港区・渋谷区・目黒区センター校）

特別支援教育センター的機能通信　No.3（通巻No.92）

# つ な ぐ



令和8年度　10月30日（金）

都立青山特別支援学校長　法月　英里
相談支援部主任　田村　明子
文責　田崎　里香
長尾　理子

## 学校間交流を行いました！

《小学部》

10月6日（火）に、青山特別支援学校小学部４・５年生と、青山小学校４年生が、本校体育館に集まり交流を行いました。本校でも青山小でも、交流の事前学習を行っていたので、待ち遠しくしている児童が多く、向かい合った際は、緊張しながらも嬉しそうに挨拶をしていました。

当日は、４グループに分かれて、自己紹介ゲームと、グループ対抗のボッチャ大会に取り組みました。

自己紹介ゲームは、輪になってボールを回し、音楽が止まった時に持っていた人が、名前と好きな物を発表しました。「私もそれ好きだよ！」や「一緒だね！」と、互いの好きな物を聞いて、リアクションをしている声が各グループから聞こえてきました。



ボールを使った自己紹介ゲームの様子



的を狙ってボッチャに集中している様子

グループ対抗のボッチャ大会では、１回練習をしてから、本番に取り組みました。青山小の児童が、得点表に名前と点数を書き込む係をしてくれました。「○○さん、○点！」と、児童同士で連携して、点数を伝える様子がありました。本番では、どのグループも最高得点の３点を狙って投げ、一喜一憂している姿がありました。結果発表では、１位を祈ってとても盛り上がり、１位ではなくても、どのグループも頑張ったと称え合いました。



最後の感想発表では、本校児童は「一緒にボッチャをできて嬉しかったです！」と、述べていました。青山小の児童は、「友達」と本校児童のことを表現しており、大変嬉しく思いました。また会えることを、互いの児童が楽しみにしているようでした。同じ地域に住む友達として、すれ違ったときには挨拶できたら良いですね。とても有意義な交流となりました。

青山小の児童と互いにコミュニケーションをとる様子





## 《中学部》

10月8日（木）に、青山特別支援学校中学部１年生１８名と青山中学校の生徒５７名が本校体育館に集まり、グループに分かれてボッチャで交流を行いました。

始まりの会では、ウォーミングアップとして全員で「エアロビクルス」のダンスを踊りました。軽快に楽しそうに取り組んでいる姿は、学校間を越えて一体感があり、清々しく見えました。



始めのことば



エアロビクルス

始まりの会の後はグループ別の活動です。自己紹介をしたあと、ボッチャゲームが始まりました。得点・ボール渡しなど５つの係を分担し、みんなで力を合わせて進めていきます。

同じチームで一緒に取り組むことで、それぞれの得意なことや苦手なことが少しずつ見えてきます。お互いに歩み寄りながら、係活動など協力してできたことは、今回の交流の大きな意義だと感じます。



ボール係もバッチリ！



よく見て、ねらって投球！



ボールは何点のところに？！



各グループ、盛り上がりました！

事後学習で、手紙の交換を行いました。青山中学校の皆さんからもたくさんのメッセージをいただきました。

短い時間ではありましたが、楽しく過ごしながら、同じ地域で学ぶ友達のことを知ることができる充実した時間となりました。

### ◆校内の保護者の皆様からの御相談をお受けいたします。

コーディネーターが御家庭での子育てのお悩みなど、一緒に考え、解決していけるよう御相談に対応しています。担任を通じてお電話や連絡帳にて、御相談ください。

